事前配布版（2025.4.1）

第 48 回全国建築板金競技大会

実施要綱

2026年2月28日（土）・3月1日（日）

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会

全日本板金工業組合連合会

全国建築板金競技大会　実施要綱

1.　目的

我が国の伝統ある建築板金の技能を後世に残し、将来の建築板金を担う若手の後継者の発掘と育成を図るため、その技能を発表する機会を設け、その技術力を競技・研鑽させる。それにより国民生活に欠かすことのできない「住」に係わる優秀な建築板金の人材育成を行い、我が国の住環境の品質の向上・安心・安全に資するものとする。

□　技能競技の部（ZIC）

技能者が新しい時代の要請に応えていくためには、技能の基本に立脚し、創意・工夫を重ねていかねばならない。具体的には建築板金業における「ものづくり」の基礎を成す＜技能＞の継承及び国民生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である＜技能＞の振興に対する決意と取り組みを内外に表明する。

□　建築技術の部（NYAC）

建築板金業における良質工事の確保に必要な施工管理技術の向上に資すると共に、建築の様式や工夫の変化に対応した施工技術の向上と有能な技術者を建築板金業界に確保し、国民の住生活の向上と、重要な役割を担う建築板金業の施工管理能力＜責任施工能力＞の向上に対する決意と取り組みを内外に表明する。

2.　実行機関

□　主催　　一般社団法人日本建築板金協会（日板協）
　　全日本板金工業組合連合会（全板連）
□　後援　　厚生労働省・国土交通省・静岡県・富士宮市
（予定）　　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
□　設営　　日板協／全板連青年部
□　協力　　各板金工業組合協議会青年部
　　（北海道・東北・関東甲信越・中部・西部・四国・九州（順不同））

3.　選手の参加資格

建築板金に興味がある者であれば誰でも参加可能（職業訓練生・学生も可※）。
ただし、過去の大会における部門第1位入賞者でないこと。
参加申込み者が会場収容スペースを上回った場合は、先着順とする。
※未成年者の場合は保護者の同伴が必要となります。

4. 開催期日

2026年2月28日（土）・3月1日（日）

5. 開催場所（宿泊場所）

〒418-0101　静岡県富士宮市根原492-8「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968　　FAX:0544-52-1336

https://www.fuji-kkc.ac.jp/

6. 参加申し込み　等

(1) 所定の参加申込み用紙でお申込みください（FAX可）。

(2) 参加申込期限…… 2025年10月31日（金）17時

- **11月以降に参加申込のあった各都道府県板金工業組合へ請求書を発行いたします。**
- 参加申込期限以降に取消しとなった場合、参加費用は返金いたしかねます。
- 本大会は通常開催を前提としてご案内するものですが、感染症等の感染状況いかんによっては、参観者や選手数の制限を設ける可能性がある事をご了承ください。

(3) 参加費

① ZIC選手：**一人26,400円**（24,000円（本体）＋2,400円（消費税）・支給材料費、宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）

NYAC選手：**一人23,650円**（21,500円（本体）＋2,150円（消費税）・支給材料費、宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）

② 参観者：**一人23,100円**（21,000円（本体）＋2,100円（消費税）・宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）※ 選手、参観者ともに一泊三食（夕・朝・昼）。

参観者枠で当日来場された方には、競技を間近で見ていただけるお時間をご用意しております。

(4) 参加費の振込先

りそな銀行　麻布支店（普通）1715495「一般社団法人日本建築板金協会」

7. 競技課題及び持参道具

□ 技能競技の部（ZIC）

1) 銅板による「手桶と柄杓」の作製（展開図の作製を含む）とし、その詳細は課題冊子によります。

2) 課題冊子に記載された「指定工具一覧」以外の工具類の使用はできません。

※不明な点は必ず事前に確認してください。

□ 建築技術の部（NYAC）

1) 「学生寮新築工事」に関する施工図2枚を作成することとし、その詳細は課題冊子によります。

2) 道具類は課題冊子に記載された「選手が持参するもの」等をご確認ください。

事前に送付する場合は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにしてください。

【送付先】

〒418-0101　静岡県富士宮市根原492-8　「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968　　FAX:0544-52-1336

「富士教育訓練センター　気付 日板協　○○・○○○○（組合・氏名）」

（現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります）

注意富士教育訓練センターから自宅への宅急便はヤマト運輸の着払いのみとなります。
返送に係る制限があります。

（3辺の長さの合計が200㎝以内/1辺の長さが170㎝以内/重量は30kg以内）

8.　富士教育訓練センター入校に際して**【センター運用ガイドラインに依る】ほか**

健康チェックシートについて

会場となる富士教育訓練センターでは感染症ガイドラインが運用されておりますが、
富士教育訓練センター　感染症ガイドライン（第1.1版）.pdf（fuji-kkc.ac.jp）
2025年8月下旬より**“健康チェックシート”の提出は不要となります**。

害虫に関する今後の対処方針について【2025.3.7付_富士教育訓練センターより】

・入寮前の点検を徹底し、宿泊環境を阻害する要因がないか確認いたします。
・万が一被害が発生した際の予備部屋を事前設定し、日板協と共有を行います。
・夜間の問い合わせ窓口の連絡先を、全ての参加者に事前周知いたします。

9. 審査基準及び方法

大会の円滑なる運営を図り厳正公平な審査を期するため本部委員会、実行委員会、審査委員会を設置し別途定めるものによる。

(1) 本部委員会の構成

本部委員会の構成は、日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部部長より委任された者をもって構成する。

(2) 実行委員会の構成

日板協青年部役員がこれにあたる。

(3) 審査委員会の構成

外部審査員（予定）

技能競技の部：職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会指名者

建築技術の部：国土交通省、職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会、各指名者

内部審査委員

日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部役員

(4) 審査結果の発表

時期：2026年3月中旬（予定）

※審査結果に関する得点の内訳は選手所属組合にのみ公表。

課題の返却について

各部門の上位５作品に限り、返却希望者へ作品の返却を行います。

時期：５月の全国大会展示終了後

内容：返却申請のあった入賞者本人へ着払いにて発送

方法：結果発表から2026年5月1日（金）17時までに発送先住所、氏名を記載の上、所属組合を通じて日板協宛にFAX【03-3456-2781】にて返却申請と共に返却費3,300円をお振込みください。

りそな銀行　麻布支店（普通）1715495「一般社団法人日本建築板金協会」。

問合せ：不明点は日板協事務局：黒木、福間【03-3453-7698】まで

(5) その他

採点については審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか否かを決定する。

減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

開・閉会式や道具検査への遅刻については審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

10. 表彰

上位入賞者は次のとおり表彰する。

① 内部表彰

両部門第1位から第10位までを入賞とする。

第1位から第5位までを日板協会長名による賞状と記念品を、第6位から第10位までを日板協会長名による賞状を授与する。

② 外部表彰（予定）

□ 技能競技の部（ZIC）

第1位　厚生労働大臣賞

第2位　厚生労働省　人材開発統括官賞

第3位　静岡県知事賞

第4位　富士宮市長賞

第5位　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

□ 建築技術の部（NYAC）

第1位　国土交通大臣賞

第2位　国土交通省　不動産・建設経済局長賞

第3位　静岡県知事賞

第4位　富士宮市長賞

第5位　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

③ 表彰式（予定）

両部門第1位～第5位の上位入賞者に対して下記の通り表彰を行う。

外部表彰：全国建築板金業者大会（第1位は登壇して受賞）

※大会参加に係る参加費/交通費は本人負担となります

内部表彰：日板協青年部通常総会時

11. 不可抗力による開催方法の変更または中止・短縮及び管理責任

地震・台風・火災等の天災、感染症、テロ、諸官庁からの指示・命令、その他不可抗力により開催が困難となった場合は、主催者の判断により開催方法の変更または中止・短縮を行うことがあります。

【開催方法の変更について】

① 緊急事態宣言の発令等を理由として、従来の方法による競技大会開催が困難であると主催者が判断した場合には、開催方法を変更する場合があります。

② 変更に際しては2026年1月23日（金）までに、日板協から各組合事務局宛に変更内容を示した案内文書を発出します。

【中止・短縮について】

① 開催日前々日以前に開催中止となった場合は、弁済すべき必要経費を差し引いた参加費の残額を返金します。

② 開催中（設営日（大会前日）を含む）に発生した不可抗力による開催中止もしくは短縮については、原則として参加費は返金しません。

③ 開催中止・短縮のために参加者が要した費用（交通費・宿泊費・工具発送費等）については補償しません。

④ 天災、事故、盗難、その他不可抗力により、人身や物品に対する傷害・損害が生じても主催者はその責任を負いません。

12. スケジュール（予定）

二日間のスケジュールは下記の通りです。

	時刻	行事・行動	備考
第一日	12:30	集合	JR新富士駅富士山口 ロータリー
	12:40 ～	バスで移動	
	13:30 ～ 14:10	受付	富士教育訓練センター
	14:20 ～ 15:00	開会式	
	15:10 ～ 15:20	記念撮影（屋外）	（荒天時は体育館で撮影）
	15:50 ～	競技上の説明 ・持参道具点検　等	選手　：各部門会場 参観者：開会式会場
	18:00 ～ 19:30	夕食	食堂
	17:00 ～ 22:00	入浴	浴室
	23:00	消灯（自室へ）	
第二日	6:30 ～	朝食	富士教育訓練センター 食堂
	7:20	選手集合	
	7:30 ～ 12:00	競技（NYACは11:30まで） （ZICは12:00まで）	各部門会場
	12:05 ～ 13:00	昼食	食堂
	13:30 ～ 14:00	閉会式	講堂
		＜参加者＞	
	14:30 ～	バスで移動	富士教育訓練センター発
	15:30頃	解散	JR 新富士駅北口ロータリー着

※スケジュールは変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

13. 参考資料①：過去の上位入賞者（敬称略）

※第43回全国建築板金競技大会は新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避と拡散防止の観点から、参加者並びに関係者の皆様の安全を第一に考え、中止となりました。

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第47回	第1位	溝口 隆之（岡山県）	片野 裕勝（北海道）
	第2位	西嶋 拓也（山口県）	益子　到（茨城県）
	第3位	清野 悠太（秋田県）	黒川 尚彦（愛媛県）
	第4位	朝妻 享大（鳥取県）	永徳　太（神奈川県）
	第5位	菊地 和浩（茨城県）	橋本 直明（三重県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第46回	第1位	高山 欣也（大阪府）	粒来 雄貴（岩手県）
	第2位	中山 桜太（岡山県）	片野 裕勝（北海道）
	第3位	西嶋 拓也（山口県）	永徳　太（神奈川県）
	第4位	三原 隆太（広島県）	坪井 典之（茨城県）
	第5位	山下 大輔（岡山県）	桃原 正男（東京都）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第45回	第1位	粒来 雄貴（岩手県）	三上 浩平（北海道）
	第2位	西嶋 拓也（山口県）	永徳　太（神奈川県）
	第3位	柳原 大貴（愛知県）	坪井 典之（茨城県）
	第4位	片野 裕勝（北海道）	西川 壮一（京都府）
	第5位	高山 欣也（大阪府）	橋本 直明（三重県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第44回	第1位	井狩憲治（滋賀県）	吉岡智佳（富山県）
	第2位	粒来雄貴（岩手県）	永徳　太（神奈川県）
	第3位	片野裕勝（北海道）	橋本直明（三重県）
	第4位	西嶋拓也（山口県）	三上浩平（北海道）
	第5位	柳原大貴（愛知県）	該当者無し

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第42回	第1位	古市友之（北海道）	桂田　睦（滋賀県）
	第2位	粒来雄貴（岩手県）	千喜良幹嗣（新潟県）
	第3位	島津隆行（奈良県）	武井陽一（埼玉県）
	第4位	西嶋拓也（山口県）	斉藤哲広（茨城県）
	第5位	坂東右京（大分県）	吉岡智佳（富山県）

・14.参考資料②　歴代優勝者一覧（敬称略）

※直近5年間の上位入賞者は前ページに掲載、（カッコ）内は都道府県

開催年	回数	技能競技の部（ZIC）優勝者	建築技術の部（NYAC）優勝者
昭和54年	第1回	住田洋一　（三重県）	平成3年度（第1回） ～平成7年度（第5回） 「全国建築技術コンクール」 として開催 平成8年度より 「建築技術の部（NYAC）」として開催回数を統一化
昭和55年	第2回	菊地修晴　（青森県）	
昭和56年	第3回	海野英男　（長野県）	
昭和57年	第4回	佐藤彰三　（長野県）	
昭和58年	第5回	別井閑伯　（大阪府）	
昭和59年	第6回	池田　勝　（香川県）	
昭和60年	第7回	渡辺幸雄　（福島県）	
昭和61年	第8回	橋谷輝昭　（香川県）	
昭和62年	第9回	岩間郁彦　（三重県）	
昭和63年	第10回	木村昭一　（千葉県）	
平成1年	第11回	神谷　聡　（愛知県）	
平成2年	第12回	宮村浩樹　（大阪府）	
平成3年	第13回	徳永正典　（香川県）	松代一郎　（愛知県）
平成4年	第14回	平瀬秀樹　（愛知県）	大沢　裕　（青森県）
平成5年	第15回	仲田　満　（島根県）	園部良男　（茨城県）
平成6年	第16回	吉澤澄夫　（東京都）	須賀原尚弘　（福井県）
平成7年	第17回	今泉信一　（福島県）	尾形　誠　（福島県）
平成8年	第18回	佐藤　剛　（秋田県）	金子正勝　（岩手県）
平成9年	第19回	越前谷満　（秋田県）	小林　茂　（群馬県）
平成10年	第20回	片山匡裕　（愛知県）	助川啓一　（茨城県）
平成11年	第21回	伊藤博美　（秋田県）	平瀬秀樹　（岐阜県）

歴代優勝者一覧（敬称略）

※第36回全国建築板金競技大会は悪天候のため中止

開催年	回数	技能競技の部（ZIC）優勝者	建築技術の部（NYAC）優勝者
平成12年	第22回	鈴木健友　（秋田県）	桑原敏彦　（群馬県）
平成13年	第23回	川崎　弘　（兵庫県）	桑原勝則　（群馬県）
平成14年	第24回	佐々木悦雄　（秋田県）	加藤丈晴　（岐阜県）
平成15年	第25回	佐藤正太郎　（福島県）	宇野勝義　（愛知県）
平成16年	第26回	金井保栄　（静岡県）	山﨑一夫　（島根県）
平成17年	第27回	宇佐美裕幸　（秋田県）	中山直樹　（島根県）
平成18年	第28回	谷口宜伸　（広島県）	大西孝則　（奈良県）
平成19年	第29回	山本新一　（青森県）	和田真輝　（京都府）
平成20年	第30回	山本真士　（北海道）	髙見　学　（京都府）
平成21年	第31回	佐々木剛　（愛媛県）	熊谷義秀　（北海道）
平成22年	第32回	一ノ関晃多　（秋田県）	北村英明　（埼玉県）
平成23年	第33回	岩本成人（福井県）	羽賀　満（新潟県）
平成24年	第34回	橋谷冬紀（香川県）	武井　士（山梨県）
平成25年	第35回	唐島盛一（富山県）	元木敏仁（東京都）
平成27年	第37回	久保田春紀（長野県）	國松慶誇（東京都）
平成28年	第38回	森永龍一（長崎県）	久保田春紀（長野県）
平成29年	第39回	堀井貴義（愛知県）	飛留間和紀（千葉県）
平成30年	第40回	佃　幸二（石川県）	唐島盛一（富山県）
平成31年	第41回	桂田　睦（滋賀県）	笹島征太郎（茨城県）

15. 参加者の心得

全国建築板金競技大会 出場選手および参観者の心得

一般社団法人日本建築板金協会

全国建築板金競技大会に参加する選手並びに参観者の基本的な心得を次の通りと定める。
大会期間中、競技会場内・宿泊施設およびこれらに付随する諸施設内にあっては社会人としての秩序や友愛をモットーとし、互いに協力し合い、大会にふさわしい環境をつくるように心がけること。
また、大会の風紀を乱し、選手の本分に反しないように服装、言葉遣いなどについては十分留意し、かつ、品位を保ち、自覚ある行動をとるように心がけること。さらに、参観者は選手に対する心遣いと心配りを行い、選手以上に選手たる行動をとるものとする。

【注意する事項】

1. 集合や競技における時間についてはもちろんのこと、食事や入浴、消灯時間等の規則を厳守すること。
2. 大会および宿泊施設の備品類やその他の公共物の破損、紛失等は絶対に避けること。 万が一破損・紛失をした場合は、速やかに大会実行委員まで申し出ること。
3. 競技会場には集合時間前や終了後または休憩時間中に立ち入らないこと。
4. 宿泊室および競技会場をはじめとする施設内は禁煙となっているので、タバコは決められた場所で喫煙し、火災の防止に努めること。
5. 期間中は他の研修生、センター職員には必ず声を出して挨拶をすること。
6. 期間中はできるだけセンターからの外出を避けること。
7. 部屋の鍵は各自で管理し大会終了後は必ず返却する（絶対に持ち帰らない）こと。期間中は、貴重品以外の荷物は部屋に置いたまま必ず施錠すること。
8. 浴室利用は午後5時から午後10時までと決められているので厳守すること。
9. 食堂の利用時間は以下の通り
   朝:午前6時30分～午前7時半、 昼:12時5分～午後1時、夕:午後6時～午後7時半
10. 消灯時間（午後11時）を厳守すること。
11. 主催者の指示に従うこと。従わない場合、参加の取消を求める場合があります。その場合の参加費等、参加者が要した費用全てについて主催者は補償しません。
12. 不明な点は大会実行委員に申し出ること。
13. 大会期間中の飲酒は食堂に限り、午後7時半～午後9時00分までと決められているので厳守すること。
14. 個人によるビデオカメラやスマートフォンなどによる動画撮影や録音、それらデータの各種ウェブサイト等への投稿や掲載は肖像権侵害など、法律違反となる場合があります。
15. 公式記録のため、ご来場の方々が撮影され使用される場合があることや、**競技の様子など動画配信を行うことがある**ことをご了承ください。

以上

16. 富士教育訓練センター会場

・左上の2H（講堂）が開閉会式会場

・2Fフロアーの屋外通路より共用棟へ